

2022年11月13日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第65巻第31号(通算3313号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

かみさま ひと とも
神様がすべての人と共に
あかし きょうかい
おられることを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)



こうたんぜん だい しゅじつれいはい
降誕前 第6主日礼拝

しょう しゃしゅうかん
(障がい者週間)



れいはい ちゅうけいはいしん
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしょうめつ
前 奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しょう せつ
招きの詞 イザヤ書 12章 2節

さんび か ばん しょう せつ
賛美歌 21-211番「あさかぜしずかにふきて」(©JASRAC)

せい しょ しょう せつ
聖 書 イザヤ書 65章 17-25節

いの ばん しゅ あお み つちやはつえ
お 祈り 賛美歌 21-579番「主を仰ぎ見れば」(©土屋初枝)

メッセージ 「オオカミが襲わなくなるときに」 岡嶋 千宙 伝道師

さんび か ばん しゅ まね こえ しょう せつ
賛美歌 21-516番「主の招く声が」(©JASRAC)

しゅ いの ばん てん わたし ちち きょうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

あいじしゆくふくしき しょう せつ
愛児祝福式(*) 岡嶋 千宙 伝道師

ささげもの ばん かみ めぐ う せつ
献げ物(**) 派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゆくふく しょう せつ
祝 福 岡嶋 千宙 伝道師

こう そう ばん ちよさくけんしょうめつ
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほう こく ページ さんしょう
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* みんなで出席された子どもたちに神様からの祝福をお祈りします。

** 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 イザヤ書 12章 2節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

見よ、神は私の救い／私は信頼して、恐れない。

^a主こそ私の力、^b私の歌。／私の救いとなってくださった。

(脚注 a：ヘブライ語原典では「ヤハ、ヤハウエ」、b：「私の」は補足)

聖書 イザヤ書 65章 17-25節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹⁷見よ、私は新しい天と新しい地を創造する。／先にあったことが思い出されることはなく／心に上ることもない。

¹⁸しかし、私が創造するものを／代々^{よよ}とこしえに楽しみ、喜べ。／私はエルサレムを創造して喜びとし／その民を楽しみとする。

¹⁹私はエルサレムを喜びとし／私の民を楽しみとする。／そこに再び、泣き声や叫び声が聞かれることはない。

²⁰そこにはもはや、数日の^c命の乳飲み子も／自らの寿命を満たさない老人もいなくなる。／百歳で死ぬ人は若者とされ／百歳にならないで死ぬ者は呪われた者とされる。

²¹彼らは家を建てて住み／ぶどうを植えてその実を食べる。

²²彼らが建てて別の人が住むことはなく／彼らが植えて別の人が食べることもない。／私の民の一生は木の一生のようになり／私が選んだ人々は自分たちの手の業^{きょうじゅ}を享受する。

²³彼らは無駄に労することもなく／産んだ子を^d災いにさらすこともない。／彼らは、主に祝福された者の子孫となり／その末裔^{まつえい}も彼らと共にいる。

²⁴彼らが呼ぶより先に、私は応え／彼らがまだ語っている間に、私は聞き届ける。

²⁵狼^{おおかみ}と小羊は共に草を食^はみ／獅子^{しし}は牛のようにわらを食^はべ／蛇^{ちり}は塵を食べ物とし／私の聖なる山のどこにおいても／これらは危害を加えることも、滅ぼすこともない／――主は言われる。

(脚注 c：「命の」は補足、d：別訳「突然の恐怖」)



《先週のメッセージより》2022年11月6日 召天者記念礼拝

メッセージ「天国のことは天国で」より

水谷憲牧師

聖書 ルカによる福音書 20章27-40節

「死後の世界」「私たちは死んだらどこへ行き、どうなるのか」という謎は、私たちの大きな関心事である。ファリサイ派の人々はその謎を解明しようとして、死んだ人は復活の時に服を着ているのか裸なのか、服は死んだ時の物か新しい物か、体の欠陥はそのままなのか、どこで復活するのか、などと議論していたという。「気になるのそこなん？」まあそれも復活を確信していたからこそか。それに対しサドカイ派の人々は、復活を全面的に否定していた。彼らは口伝の律法や慣習ではなく、「モーセ五書（創世記・出エジプト記・レビ記・民数記・申命記）」のみを絶対としており、そのモーセが復活について何も語っていなかったからだ。彼らはそのモーセの「兄が子をもうけずに死んだ場合、弟は兄嫁と結婚して兄の跡継ぎをもうけねばならない」という律法を引用して、イエスに「七人の兄弟を次々に夫にした女性は、復活の際に誰の妻になるのか」というややこしい質問をした。マタイやマルコ福音書の同じ話の箇所では、その質問を受けてイエスはまずこう言う。「あなたたちは聖書も神の力も知らないから、そんな思い違いをしているのではないか」。

この世における常識を天国に持ち込むことが思い違いなのかもしれない。復活とは、死んだ体が再び息を吹き返すことでも天国でこの世の生活の延長を永遠に生きるということでもない。私たちの知る結婚生活や家族としての生活ではない、私たちの想像を超えた関係性によるものなのだろう。そう考えると、確かに少々さみしい。しかし確実なのは、私たちがいつかこの世の歩みを終えて天国へ招かれた時、私たちは先に召されていた愛する人たちと再び笑顔で会うことができるということ。私たちが天国でみんなと一体どのような姿で再会するのかは、今は分からないが、もう地上では会えなくなっていた大切な人と必ず再会し、永遠の時をお互いに慈しみあいながら歩いていくことは確かに約束されているのだ。天の国に招かれた後のことは天の国に招かれれば分かる。「明日のことを思い患うな」とイエスも言われる。神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。もうすぐクリスマス。キリストがこの世に誕生したのは、この地上に生きる私たちのためだった。まず私たちが考えるべきは、私たちが神に与えられた命をどんな風に燃やして生きていくかだ。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

YouTube



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 11月6日 召天者記念礼拝

主日礼拝出席 大人6名 中継動画再生数 15回
 献金 大人6,000円 感謝

13時半より王寺墓地で墓前礼拝を行い、14時半より第二好意の庭にて永眠者記念礼拝も行われました。

◎次週 2022年11月20日(日)(愛児祝福月間)

招きの詞 ルカによる福音書 1章 78-79節

聖書 エレミヤ書 23章 33-45節

メッセージ 「正しい若枝」岡嶋千宙伝道師

賛美歌 21-54番(©P.D.)、21-268番(©出版局)、21-403番(©JASRAC)

礼拝はインターネットで中継いたします。

11月は「愛児祝福月間」ですので、礼拝の中で「愛児祝福式」を行います。小さい子どもたちもどうぞ一緒にご参加ください。

14時から、服部墓地にて 月 日に天に召された さんの納骨式(墓前礼拝)を行います。



◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧頂くことも可能です。
- ・本日11月13日(日)～19日(土)までが、今年度の「障がい者週間」です。その最終日19日(土)13時～15時半にかけて、ZOOMにて吉岡卓さんの講演会が行われます。申し込みはメールで、下記までご連絡ください。 dudfv705@yahoo.co.jp 参加費は無料です。

主催：NCC(日本キリスト教協議会)「障害者」と教会問題委員会



2022年「障がい者週間」 11月13日(日)～19日(土)
 「障がい者週間」の集い
「支え合う『いのち』」
 聖句：ローマの信徒への手紙 12章 15節
 「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

イエスさまにお会いして 彼の顔をニコニコ嬉ました
(はなすまの子どもたちの絵)

① 証・講演
 講師：吉岡卓さん(障がいを負う人々・子どもたちと共に歩むネットワーク副代表)

② 交わり
 日 時：2022年11月19日(土)13時～15時半 zoomにて開催
 文字による情報提供と手話による情報提供の用意がございます。
 点字資料の必要の方は、ご連絡ください。
 申込み・問合せ先：北村 智史(日本キリスト教団・東京府中教会)
 e-mail: dudfv705@yahoo.co.jp
 主 催：NCC「障害者」と教会問題委員会
西暦 2022年2月25日第3種郵便物認可 毎週4発行、火、水、金曜日発行5880 2015年9月22日発行(通巻9002号)

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
11/20	岡嶋伝道師	(愛児祝福月間) 14時～服部墓地墓前礼拝・納骨式(牛田牧師)
11/27	牛田牧師	(愛児祝福月間)第1アドベント礼拝 誕生者祝福式・おにぎり支援
12/4	牛田牧師	第2アドベント礼拝 ユーカリスト・教会を考える会
12/11	水谷牧師	第3アドベント礼拝 (第二好意の庭・クリスマス会(牛田牧師))